

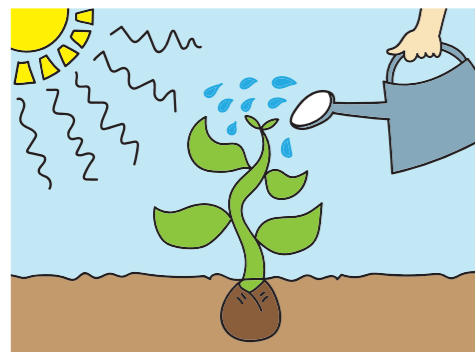
## ワンフェスユース 2020 開催概要

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2020 online  
「わたしたちが描く持続可能な社会の未来図」

開催日 2020年12月20日(日) 10:00~16:00  
開催場所 ワンフェス for ユース公式ホームページ内特設会場

### 当日参加者数

2020年は高校生を中心に延べ1,200人の参加者を迎え、  
2014年からの累計は、延べ31,200人を超えます!



### ワンフェスユースのコンセプト

種や芽はそれ一つでは育つことが難しくても、日の光や水、土壌からの栄養をもらうことで育っていきます。高校生の思いの芽や種も、はじめから完成しているわけではありません。NGOやNPO、ワンフェスユース運営委員、OV会、協力団体や企業の応援、そして市民のみなさんからのクラウドファンディングをはじめとする、共感・賛同の気持ちを栄養とし、大きく育っていきます。栄養をもらった高校生実行委員たちの思いの種や芽が、ワンフェスユースのコンセプトをつくり、企画となって、実現されて、育っていきます。

※ワンフェスユース運営委員は関西のNGOと高校・大学の教員・社会的企業・ユースにより構成されています。



- 主催** ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 運営委員会、(特活)関西NGO協議会
- 協力** 大阪大学COデザインセンター、(公財)大阪YMCA、(一社)ソーシャルギルド、NECネットエスアイ株式会社  
ワン・ワールド・フェスティバル for Youth OV会、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生実行委員会
- 後援** 外務省、文部科学省、(独)JICA関西、大阪府教育委員会、ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援センター  
(公財)大阪府国際交流財団、(特活)開発教育協会(DEAR)、朝日新聞社、関西SDGsプラットフォーム
- 協賛** ジブラルタ生命保険株式会社、リタワークス株式会社、真如苑  
日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)、近畿労働金庫
- 助成** 外務省NGO事業補助金事業、公益財団法人カメイ社会教育振興財団(仙台市)  
独立行政法人環境再生保全機構(※ユース提言セクション)、日蓮宗あんのん基金助成事業
- 寄付** 近畿ろうきん・社会貢献預金(笑顔プラス)寄付金



2021の募集情報を  
チェック!



ワンフェスユース公式サイト  
へ直接アクセスできます

### お問い合わせ先

(特活) 関西NGO協議会 / ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 事務局  
〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30 4 階  
TEL : 06-6377-5144 / FAX : 06-6377-5148 Email : youth\_expo@kansaingo.net  
[open hour] (火~金) 13:00 - 18:00 ※土・日・月・祝休み

ワンフェスユース2021の開催については、  
ウェブサイトをご覧ください!



わたしたちが描く  
持続可能な社会の未来図

### 高校生のための

- 開会式
- ポスターセッション
- ユネスコ協会・体験発表会
- ユースシンポジウム
- ユースアジェンダの発表
- ユース活動報告会
- 「COVID-19」、「LGBTQ」、「気候変動」プログラム
- 閉会式 など

## ワンフェスユース2020 レポート



## 「私たちが描く持続可能な社会の未来図」とSDGs



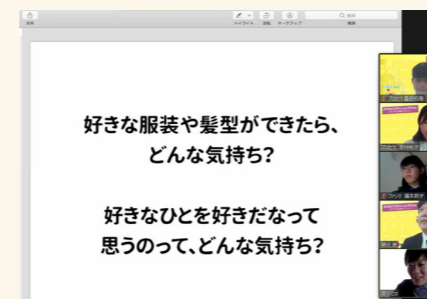
### なぜ、ユースなの？

### コロナ禍である今だからこそ

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」(持続可能な開発目標 SDGs) が 2015 年 9 月、国連において全会一致で採択されました。2030 年、私たちの住む地域、社会、そして世界はどのようになっているほしいと思いますか？ 貧困や差別がない社会、戦争のない世界、環境にやさしい社会、防災減災に取り組むまちづくり、ジェンダーの平等、質の高い教育、そして、誰もが自分らしく幸せに暮らせる社会。私たち若い世代は、地球に暮らす一員として、その未来図を描き、その実現に向けて行動します。

2020 年は新型コロナウイルス感染症拡大を受け世界中の人々が共通の課題の当事者となり、これまでの生活のあり方を見つめ直すと同時に世界との繋がりを意識しました。ワンフェスユースは、ユース主体でオンライン開催を提案し、新たなフェスティバルや、ネットワークづくりを実践できました。持続可能な社会の扉を開くための第一歩となる活動に参加してみませんか？

## ワンフェスユース2020 Online のプログラム



### 開会式 | キーノートセッション

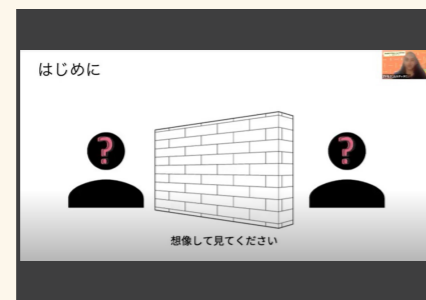
高校生実行委員会が企画した開会式では世界のユースと繋がりがコロナ禍を共有し、キーノートセッションではフェスティバルを楽しみ“持続可能な社会の未来図”を描くためのコツをナビゲートしました！

### オンラインポスターセッション

ファイナリストに選出された11の高校生チームが、11月のオンラインブラッシュアップ交流会を経て、国際課題の解決とSDGsの達成に向けたアイデアを発表しました。

### 講師によるワークショップ

高校生とNGO、企業が手を取り合い COVID-19やLGBTQ、気候変動のプログラムを開催しました！また、NGOや高校、企業などの活動が動画配信で紹介されました。



### ユースアクション報告会

高校生たちが、スタディツアーや探求学習、プロジェクトラーニングを通して、学びを深め、次の行動に繋げていく課題発見や課題解決方法について共有する学校間の報告・交流会を実施しました。

### ユースからの提言

今年発足した「ユース提言セッション」は、“差別・貧困”のユースアジェンダを策定しシンポジウムを開催しました。閉会式では、同世代がユースアクションを起こす意義を提言しました！

### 閉会式 | ラップアップセッション

各プログラムをまとめ、文字やイラストで記録したグラフィックレコードによってフェスティバル当日の振り返りをしました！

## ワンフェスユースをつくる高校生たち



ワンフェスユースは、一人の高校生の発意とそれに賛同した高校生たちによって生まれたユースの取り組みです。2020年度はオンライン開催の可能性を摸索しながら活動してきました！

### プログラム実施セッション (プロセク)



私たちプログラム実施セッションでは、実際のイベントのプログラムの構成を決めました。今回は開会式、NGO/企業講師プログラム、閉会式の内容をオンライン会議を通して企画してきました。参加者に何を伝えたいのか、私たちに何ができるのかを問い、講師の依頼や調整をし、内容をブラッシュアップ!! 当日は Zoom を活用して複数のプログラムを実施しました。

### プロセク・高校生からのメッセージ

### プログラム実施セッション メインフォーカル 武村 桃子

高校生実行委員会では例年同様に学びを共有することができるのか、私たちが社会や世界に向けて発信したいことがしっかり伝わるのか模索し続けました。大きな不安と未知なる挑戦への期待感でいっぱいでしたが、当日は驚くほど連帯のとれたワンフェスユースを開催することができたと思います。このイベントを通して学んだことを忘れず、これからもたくさんの方にチャレンジしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

プログラム実施セッション委員：メインフォーカル 武村桃子 黒田瑞穂、香田拓海、古賀凜、高居柁平、矢田七海、藪野純菜

### イベント運営セッション (イベセク)

私たちイベント運営セッションでは、例年通りなら当日会場の運営をサポートしてきましたが今年はオンラインでの開催となり特設会場の Web デザインを行いました。来場者と同じ、高校生がアイデアを出し合い、制作に携わったことで機能性や見やすさの改善を意識しました。また広報にも力を注ぎクラウドファンディングやワンフェスユースの活動を随時更新していきました。



### イベセク・高校生からのメッセージ

### イベント運営セッション 共同代表 大崎 蒼依

初めてのオンライン開催で私たちイベント運営セッションではホームページの Web デザインや Twitter や Instagram などの SNS で広報を行いました。このコロナ禍でもたくさんの方とオンラインで集まり、学ぶことが出来て良かったです。今回のワンフェスユースで得た経験を活かして今後も【今自分にできること】に取り組んでいきたいと思っています。

イベント運営セッション委員：共同代表 大崎蒼依、山本悟士 宇高結衣、梅ヶ枝桜、河南怜花、細原史恵奈、中田柁史、西川千裕

### ユース提言セッション (アドセク)



私たちユース提言セッションは、日本や世界が抱えている様々な課題の解決のため、同世代である高校生に向けた提言活動を行う専門チームとして集まりました。ワン・ワールド・フェスティバル for Youth の場で、ユースシンポジウムの開催に向けて、2030 年、2050 年を見据え、これからの時代を切り拓くために必要な指針を提案するための提言書を策定し、その内容を発表しました。

### アドセク・高校生からのメッセージ

### ユース提言セッション 共同代表 樋口 真由

今回の取り組みを通して様々な社会課題に関する自分の知識が増えただけでなく、どのようにしたら自分たちの届けたいメッセージがうまく伝わるかを考え、工夫ができるようになりました。この経験をそのまま終わらせることなく、自分の原動力にしてたくさんアクションを起こしていきたいです。私たちの活動をサポートしてくださった方々本当にありがとうございました。

ユース提言セッション委員：共同代表 菅礼美、樋口真由 川崎レナ、糸川一騎、松岡美優、マルチタニシカ、藤本絵梨奈